

熊本県土木部 復旧・復興のあゆみ 【第5号】

令和元年（2019年）10月18日発行

【目次】

- 1 Top News
9月14日 俵山トンネルルートが全線開通！
- 2 土木部復旧・復興トピックス（令和元年度上半期）
- 3 熊本地震等に伴う公共土木施設災害復旧事業（県施工分）の進捗状況



1 Top News

9月14日 俵山トンネルルート（県道熊本高森線）が全線開通！ ～阿蘇地域へのアクセス性がより向上しました～

9月14日、国の代行事業により復旧が進められていた俵山トンネルルート（県道熊本高森線）の大切畑大橋が復旧完了しました。これにより、8月3日の俵山大橋の復旧と併せて、俵山トンネルルート全線が地震前のルートで通行できるようになりました。

現在、国道57号北側復旧ルート及び現道、国道325号阿蘇大橋ルートについて、2020年度開通に向けて国による復旧が進められており、不通となっているJR豊肥本線（肥後大津駅～阿蘇駅）についても、国による阿蘇大橋地区の斜面崩壊対策が今年度末に概成すること等により、2020年度内に運行再開する予定です。

このように、阿蘇へのアクセスルートは着実に復旧しており、引き続き、早期の復旧・復興に向けて、関係機関と連携しながら全力で取り組んでいきます。



2 土木部復旧・復興トピックス（令和元年度（2019年度）上半期）

●4月16日（火）

南阿蘇村道喜多～垂玉線が開通

熊本地震により全面通行止めとなり、県が代行して復旧工事を進めていた南阿蘇村道喜多～垂玉線の復旧工事が進み、片側交互通行が可能となりました。これにより、周辺施設へのアクセシビリティが格段に向上しました。年度内の全面開通に向けて、引き続き復旧工事を進めていきます。



●8月18日（日）

県道御船甲佐線「田口橋」が開通

熊本地震で被災し、通行止めとなっていた県道御船甲佐線「田口橋」の復旧が完了し、開通しました。新しい田口橋は、被災部分を単に復旧するのではなく、幅員を従来の1車線から2車線に拡幅する「創造的復興」に取り組みました。



●8月27日（火）

八代港クルーズ拠点の愛称が「くまモンポート八代」に決定

国、県及びロイヤルカリビアン社（RCL）の3者で整備を進めている八代港クルーズ拠点の愛称が「くまモンポート八代」に決定しました。

2020年4月の供用開始に向けて、国がクルーズ船専用岸壁、RCLが旅客ターミナル及び集客施設などの「おもてなしゾーン」、県が駐車エリア等の整備を進めています。



くまモンポート八代の完成イメージ図

●9月9日（月）、9月20日（金）

災害公営住宅 御船町小坂団地、南阿蘇村長陽西部団地 が完成

熊本地震で被災された方々のすまいの再建に向けて、市町村と連携して整備を進めている災害公営住宅が、9月9日に御船町小坂地区で、9月20日には南阿蘇村黒川地区で完成しました。

12市町村で1,715戸の災害公営住宅を整備する予定であり、9月末までに767戸が完成しています。今年度中にすべての団地が完成する見込みであり、引き続き市町村と連携して整備を進めます。



【外観】



【内観】

御船町小坂団地（小坂地区）



【外観】



【内観】

南阿蘇村長陽西部団地（黒川地区）

●9月29日（日）

県道河陰阿蘇線「大正橋」が開通

熊本地震で被災し、通行止めとなっていた県道河陰阿蘇線「大正橋」の復旧が完了し、開通しました。

これにより、内牧方面及び大津方面へのアクセスが確保され、地域の通勤・通学の円滑な交通等の生活道路としての利便性の向上とともに、緊急時の避難所である阿蘇西小学校への避難路が確保されました。



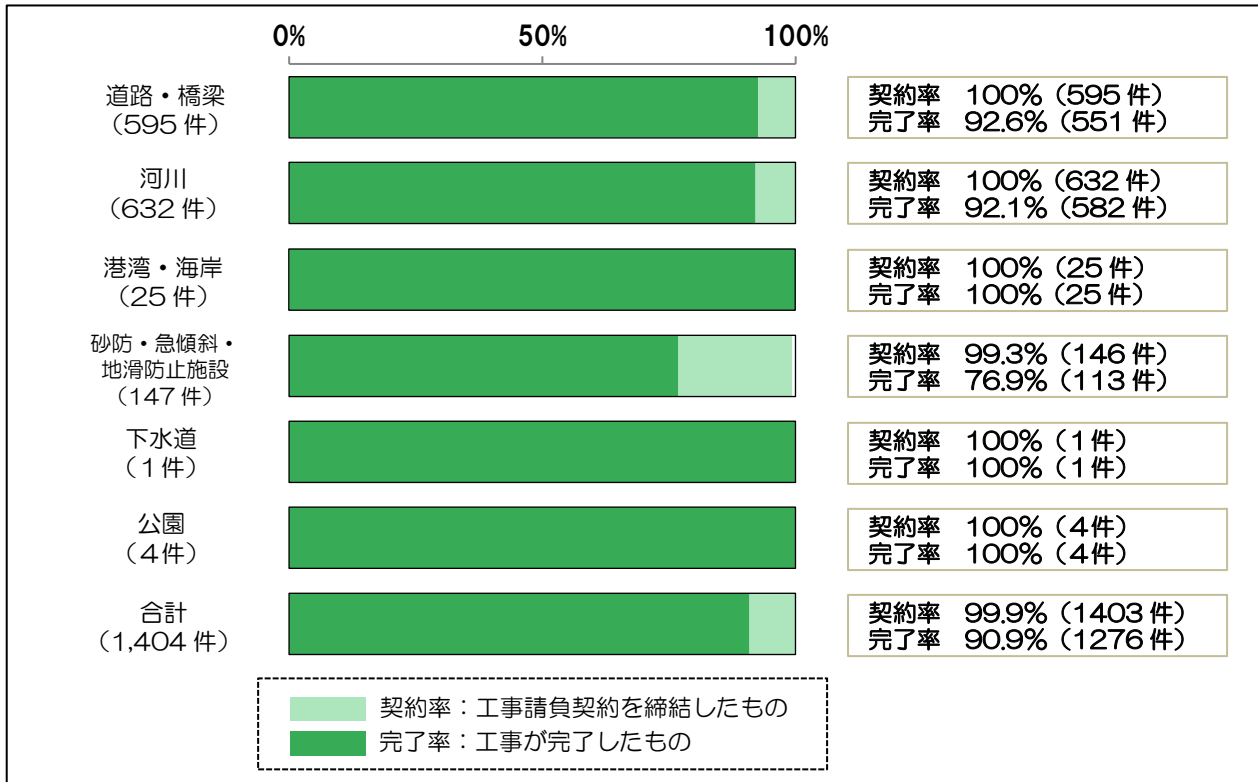
【復旧前】



【復旧後】

3 熊本地震等に伴う公共土木施設災害復旧事業（県施工分）の進捗状況（件数ベース）

令和元年（2019年）8月末現在



●また、地震から3年を契機として、これまでの復旧・復興の取組みをまとめた資料を県ホームページ上に公表しています。詳細はこちら↓

【平成28年熊本地震パンフレット(土木部版)】 https://www.pref.kumamoto.jp/kiji_27331.html

○記事に関する問い合わせ○
 熊本県土木部監理課政策班
 TEL：096-333-2483